

提案システムの要求条件について

アプリケーションでの分類	具体的なシステム内容の概要	これまでに提案された使用希望周波数帯	今回提案された要求条件		
				システム要求条件	周波数帯等
自律型システム	自律型システム 車両近傍の障害物検知し、被害軽減ブレーキや車線維持支援等、車両自律の安全運転を支援し、事故回避・被害軽減等を行う。	①59-66GHz ②76-81GHz (79GHz帯)	富士通	分解能 20cm 以下	帯域幅 : 2.5GHz~3GHz 幅
			トヨタ		周波数帯 : 79GHz 帯 (欧米の動向を踏まえ) 帯域幅 : 3GHz 幅以上
インフラ協調型システム	車車間通信システム 車と車間で直接あるいは間接的に通信を行い、事故防止支援・車両制御支援・情報交換等を行うシステムであり、得られた情報を受信車両側で活用することにより事故回避・被害軽減を行う。	①UHF/VHF 帯 ②1.5GHz~5GHz 帯 ③5.8GHz~6GHz 帯 ④ミリ波帯	自工会	見通内・外の伝搬特性のバランスが良い周波数帯 伝送速度 : 20Mbps 程度 通信距離 : 前後 450m、前方 200m 伝搬+回折 25m	周波数帯 : 700MHz~6GHz 帯 帯域幅 : 30MHz~50MHz (複数帯域の指定可)
			沖電気	5.8GHz 帯 DSRC 技術の活用 見通外通信のための低周波数帯による通信	周波数帯 : 5.8GHz 帯、200MHz 帯 帯域幅 : 50~100MHz 幅 (5.8GHz 帯)、4MHz 幅 (200MHz 帯)
			トヨタ	所要伝送速度 : 16Mbps 通信距離 : 前後 450m、前方 200m 伝搬+回折 25m	周波数帯 : 2GHz 帯付近 帯域幅 : 20MHz 幅
			NEC	所要伝送速度 : 数 M~10Mbps 以上 通信距離 : 市街地 150m、高速道路 300m 変調方式 : マルチパスに対応できるもの (OFDM)	周波数帯 : 5.9GHz 帯 又は 2GHz~3.5GHz 帯 帯域幅 : 50MHz 幅
			トヨタ	既に規格化された DSRC の利活用 所要伝送速度 : 20Mbps	周波数帯 : 5.8GHz 帯
					NEC
人車間通信システム 人・地物に設置した RFID 等を用い、車両と人・地物との通信を行うことにより安全運転支援を行う。	①59-66GHz ② 76-81GHz (79GHz)				
シームレス通信システム さまざまなメディアを使った通信システムが利用されていくものと予想され、それらの複数メディアを柔軟に切り替え、シームレスな ITS サービスを提供する。	①VHF 帯				